

# 親学習プログラムアレンジ版の使い方

- ◎ このテキストは、「中心となる活動集」、「資料集」、「ふりかえりシート集」、「アイスブレイク・アクティビティ集」の4つで構成されています。

## I. 中心となる活動集

- プログラムの中心となるエピソードやワークを集めたものです。現代的課題等をふまえた5つの大きなテーマで構成されています。

- 第1章 子どもの生活リズム
- 第2章 子どものほめ方、しかり方
- 第3章 親の役割
- 第4章 思春期の子どもとの向き合い方
- 第5章 読書のすすめ

- 各プログラムの所要時間は30～60分です。実施状況に合わせて、プログラムに記載されているアレンジアドバイスを参考にしながら調整してください。
- 各プログラムは以下のように作られています。

第5章 読書のすすめ

テーマ

**不思議な力があるのかな？絵本の読み聞かせ**

— これでバッチリ、3歳児健診 —

V-1

**ねらい** 子どもに対する読み聞かせの大切さを感じ、自分の子育てに取り入れようとするきっかけとする。

**対象** 乳幼児の子どもを持つ保護者

**展開** ♪エピソード♪

今日は、たくや君の3歳の健診日です。母親の恵美子さんはたくや君と手をつないで、町の保健センターに向かいました。

母：「だっくん、泣かないでがんばろうね。」

たくや：「うん、だいじょうぶ。」と、2人はニコニコ話していました。

ところが保健センターに着くと、子どもたちの泣き声が聞こえてきました。たくや君もちょっと不安になってきたのか、笑顔が消えてしまいました。

母：「だっくん、怖いことはないから大丈夫だよ。」

たくや：「うん。」と、答えたものの目から涙がこぼれそうになっていました。

母：「だっくん、お母さんがこの絵本読んであげるね。」

たくや：「読んで、読んで。」

たくや君は、家でお母さんに読み聞かせをしてもらっているので絵本が大好きでした。絵本が読み終わる頃には笑顔に戻り、泣かずに健診を受けることができました。

たくや：「ママ、泣かなかった。おうちで、読んで。」

母：「そうね。何の絵本がいいかな。」

2人はニコニコ話しながら、家に帰りました。

**ワーク1** エピソードを読んで次のことについて話し合しましょう。

(1)お母さんは泣きそうになっているたくや君をどんな気持ちで見ているか

(2)絵本を読んでもらっているたくや君は、どんな気持ちでしょう。

**ワーク2** 家での読み聞かせのとき、お母さんはどんな気持ちで読み聞かせをしていますか。話し合いが終わったら、資料を参考に自分の読み聞かせのやりかたを話し合しましょう。(資料編P46参照)

**ワーク3** 絵本の読み聞かせのよさを話し合しましょう。

**ワーク4** 自分の生活をふりかえり、読み聞かせができそうな時間を見つけましょう。

**活用のポイント**

- ◎ **展開する際に押さえておきたいポイント**
  - ・お母さんの絵本の読み聞かせによって、たくや君が絵本好きになっていること
  - ・ワーク2がポイントです。絵本の読み聞かせをしているお母さんの思いを聞き、読み聞かせの良さを感じることに繋がります。時間をかけて実施しましょう。
- ◎ **アレンジアドバイス**
  - ・時間がないときは、ワーク1(1)は省略してもよいでしょう。
  - ・ワーク2、ワーク3を合わせて、お母さんの思いと読み聞かせのよさを関連づけて考えることで時間が短縮できます。

エピソードはそのままコピーして使えます。

プログラム展開の流れが書いてあります。

資料は「資料集」にまとめて掲載されています。

展開の際に押さえておきたいポイントが書かれているので、事前に確認してください。

時間が短いとき等のプログラムのアレンジの仕方が書かれています。

## II. 資料集

プログラムを展開する上で使用する資料や、活用できる冊子やデータ等の情報が書かれています。資料はプログラムごとにまとめて掲載しています。

## III. ふりかえりシート集

プログラムのふりかえりに使用できるシートを集めましたのでぜひ御活用ください。

## IV. アイスブレイク・アクティビティ集

プログラムの実施や、他の家庭教育に関する講座等で使用できるアイスブレイクやアクティビティを集めました。



★親学習プログラムの様子